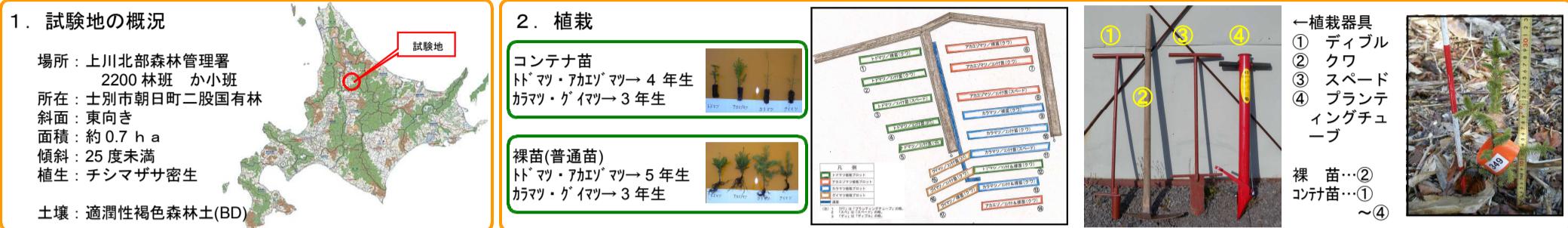


# コンテナ苗植栽試験について ～北海道でのコンテナ苗成長状況の考察～

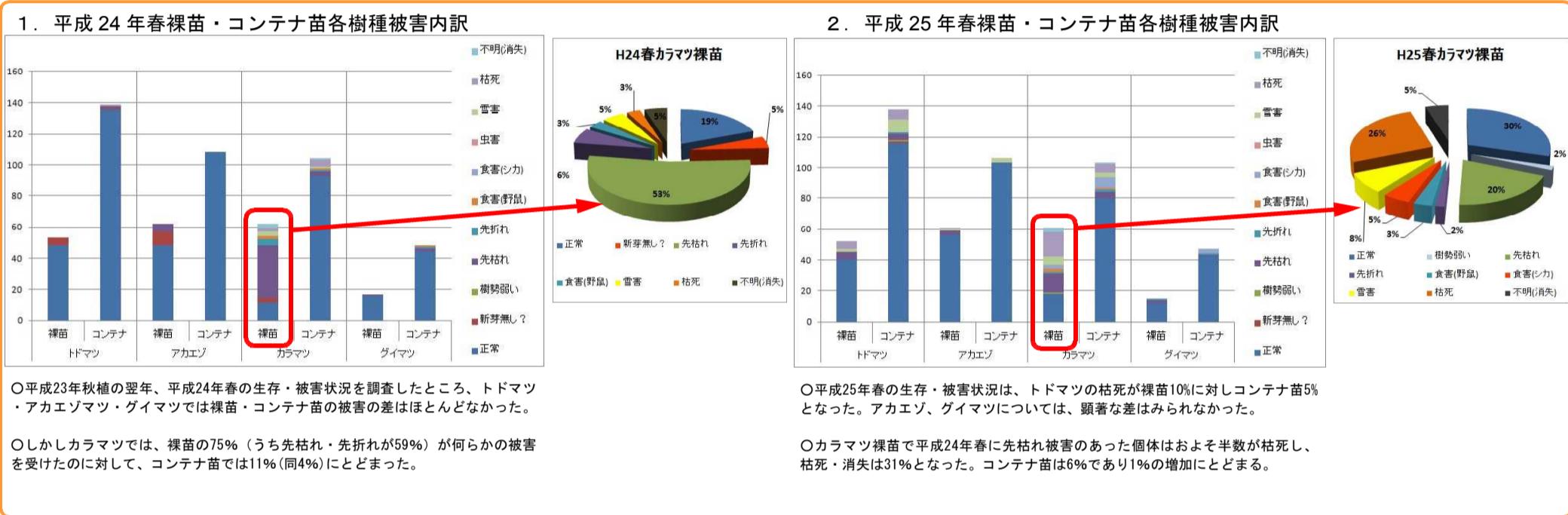
北海道森林管理局 森林技術・支援センター 南 達彦  
森林総合研究所 北海道支所 佐々木 尚三

北海道では、平成21年度からマルチキャビティコンテナによるコンテナ苗の育苗が本格的に始められ、平成23年度より森林管理局管内の3署においてコンテナ苗の導入が始められました。北海道森林管理局森林技術・支援センターでも森林総合研究所北海道支所と共同して、同年度から北海道の林業主要樹種であるトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ、グイマツのコンテナ苗を植栽し、普通苗(裸苗)と植付功程や成長状況を比較調査しています。

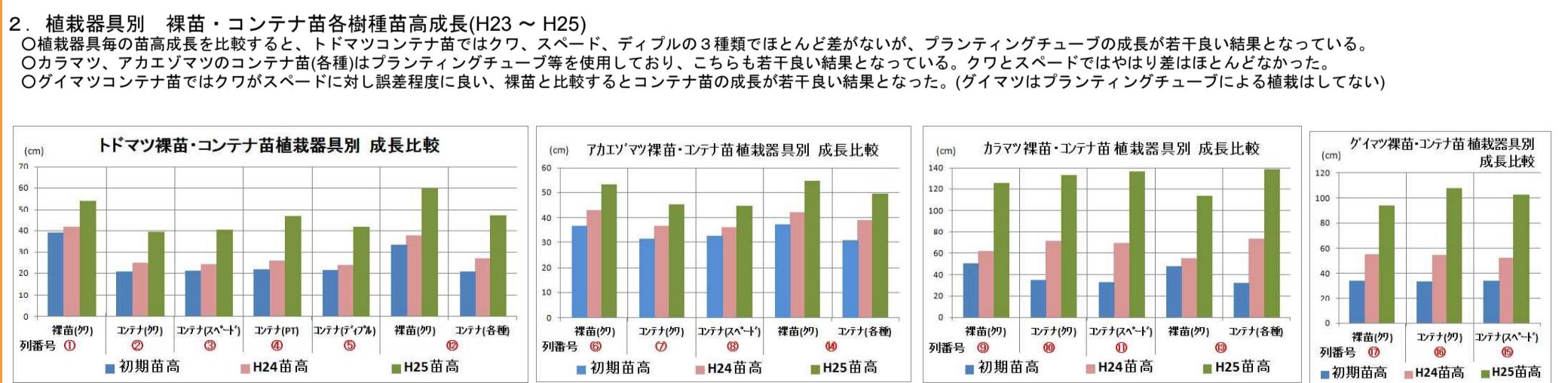
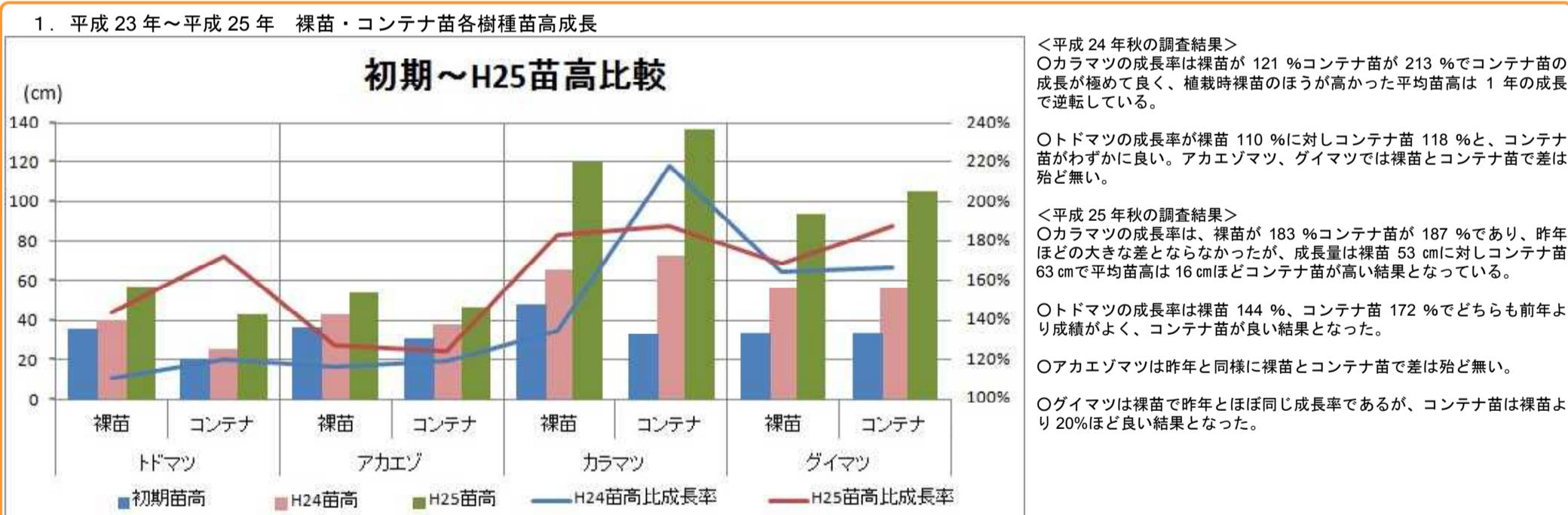
## ●コンテナ苗植栽試験



## ●植栽苗木の被害率 (平成24年春～平成25年春 調査)



## ●植栽2年間の成長状況



**まとめ** 植栽2年間の成長状況からは、カラマツコンテナ苗が最も良好な成長をしていることなどから、コンテナ苗による造林は北海道においても有効なものと考えられる。しかしながら、まだ植栽初期であるため、今後も各樹種の経過を継続調査することが必要である。また、下刈の省力化や根系の発達・生育状況についても調査を実施する。